

鳥取銀行グループ サステナビリティ基本方針を 新たに制定しました！

2024年4月に、「鳥取銀行グループサステナビリティ基本方針」を新たに制定しました。

当行では、2022年4月にサステナビリティ委員会を設置し、サステナビリティ経営の実現に向けて議論を重ねてまいりましたが、本方針は、2021年4月に行った「鳥取銀行SDGs宣言」を発展的に見直し、持続可能な社会の実現や企業価値の向上を目指すために制定したものです。

■ 鳥取銀行グループサステナビリティ基本方針

鳥取銀行グループは、経営の基本理念である「地域社会への貢献と健全経営」にもとづき、持続的な企業価値の向上に努めるとともに、サステナビリティに関する諸課題の解決に積極的に取り組み、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

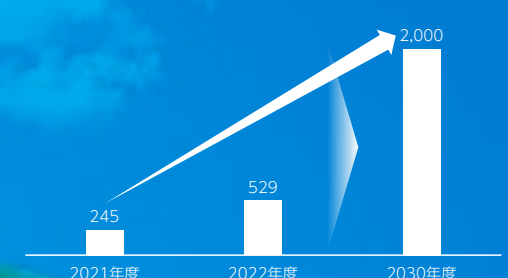
重要課題	具体的内容	SDGs
環境への配慮	地域社会の環境負荷低減や環境保全活動に取組むとともに、お客さまの環境に配慮した取組みを支援します。	6 安全な水とトイレを世界中に 7 再生可能エネルギー 12 つぎの世代にわたって資源を有効に利用 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう
地域社会の持続的発展	金融仲介機能を発揮するとともに、お客さまや地域の課題解決に向けた取組みを通じて、地域の持続的な発展に貢献します。	1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 持続可能な開発目標を達成しよう 4 質の高い教育をみんなに 8 豊かになりつつ、働きがいも経済成長も 9 産業と雇用を創出しよう 11 持続可能な都市を創出しよう 17 パートnership for the Goals
多様な人材の活躍推進	すべての役職員が個性や能力を十分に発揮し、働きがいを感じ、活躍できる、多様性と創造性を尊重した職場づくりに取り組みます。	5 ジェンダー平等を達成しよう 8 豊かになりつつ、働きがいも経済成長も 10 人や地域間の公平を達成しよう
ガバナンスの強化	コンプライアンスの遵守やリスク管理体制の強化を図り、健全経営の実践に努めるとともに、積極的に情報を開示し、信頼される企業を目指します。	16 平和と公正を達成しよう

■ サステナブルファイナンス

当行では、2021年から2030年までの10年間ににおいて累計で2,000億円のサステナブルファイナンスの実行計画を掲げております。2021年度において達成率は12.2%、2022年度では26.4%と拡大しております。

算定期間	2021年度から2030年度の10年間
累計実行額目標	2,000億円

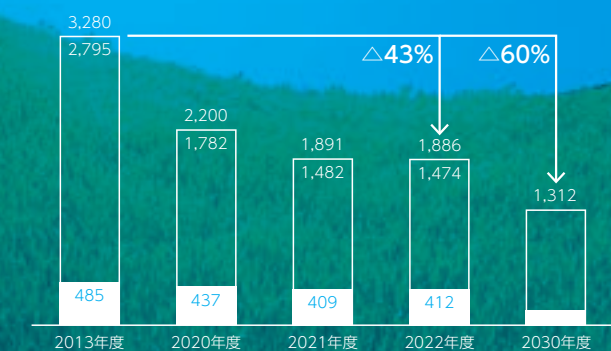
サステナブルファイナンス累計実行額（単位：億円）



■ 温室効果ガス排出量の削減目標と実績

当行では、気候関連問題が経営に及ぼす影響を評価・管理するため、GHGプロトコルの基準に基づき温室効果ガス排出量の算定を実施しております。温室効果ガスの削減目標については、2013年度比で60%削減、2050年度にネットゼロを掲げております。また、2022年度より新たにサプライチェーン全体の温室効果ガス排出量を把握するためにScope3排出量を算定いたしました。今後は投融資先ポートフォリオ排出量（ファイナンスド・エミッション）の算定を進めるとともに、サプライチェーン全体でのカーボンニュートラルへの取組みを強化してまいります。

（単位：t-co₂） ■ Scope1 □ Scope2



温室効果ガス排出量の実績（Scope3）

（単位：t-co₂）

カテゴリー	2022年度
カテゴリー1 購入した製品サービス	524
カテゴリー2 資本財	134
カテゴリー3 Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	285
カテゴリー4 輸送、配送（上流）	543
カテゴリー5 事業から出る廃棄物	105
カテゴリー6 出張	109
カテゴリー7 雇用者の通勤	290
合計	1,988

TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

取組みの詳細と最新情報はこちらをご覧ください

<https://www.tottoribank.co.jp/torigin/csr/kouken/sdgs/tcfd/>

